

J A M 政策 NEWS Special Issue

2005年9月7日 第S-09号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

Tel 03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

「小さな政府」ってなんだろう？ その1

2005年衆議院選挙【投票日は9月11日】にあたって皆で考えてみよう！

衆議院選挙関係の報道などをみると、小泉首相は「日本を小さな政府にする」「民間でできるものは民間でやってもらう」と良く言っていますが、「小さな政府」っていったいどういう意味でしょうか？なんとなく考えると、役所にやらせると無駄が多いし、役人も多すぎる。税金も高くなるから、なるべく民間でやったほうが良いような気になります。小さいって何を小さくするのでしょうか。

政府の支出は増えている！

「小さい」とは、政府の経費を少なくするという意味でしょうか。政府の人員費と政府最終消費支出をみると、小泉政権が発足した2000年度から4年間で、名目5.4%、実質では9.4%も増加しています。自分が首相だったこの4年間に、政府の支出を増やしておいて、選挙の前だ

け「小さな政府」を主張するのはおかしくないですか？

政府の支出を支えるのは、私たちの税金や社会保険料です。この国民負担を国際比較すると、先進国の中で、日本はアメリカについて低い水準です。しかし、問題は財政赤字を含めた「潜在的国民負担率」です。日本の財政赤字はダントツに多い。しかも、小泉首相は、国の借金といえる国債発行を30兆円以内にすると言明しておきながら、簡単にこの約束を破り、国会で「たいしたことではない」と答弁。結果として4年間で国債発行額は170兆円も増加しています。

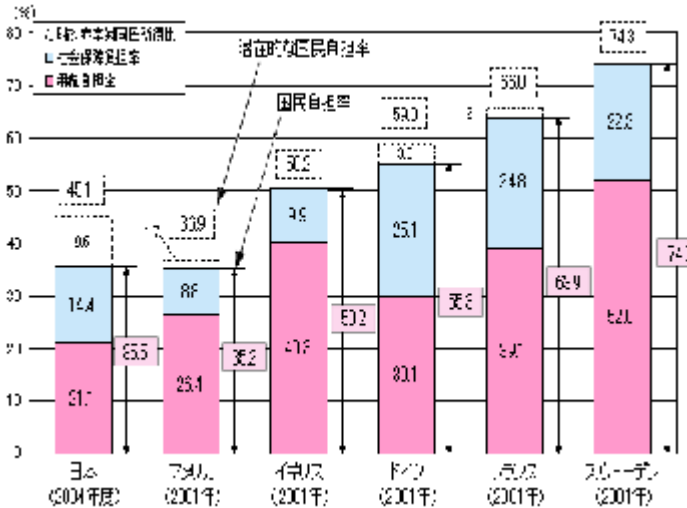
政府税調は、その借金のためにサラリーマン増税をしよう

約束破っても「たいしたことない」？

国の支出を細かくチェックして、無駄づかいをなくし、効率よく国民の税金を使ってもらわなくてはならないのに、支出も借金も垂れ流し状態だったのが、小泉政権の4年間です。今回の選挙で約束して、それを破っても、また「たいしたことない」で終わりそう。小泉首相にとって「たしたことがある」のは郵政民営化だけですから。残念！！

何が小さいと「小さな政府」なのか？

次回は、政府の役割と仕事について考えます。



9月11日は投票日——必ず投票に行きましょう。